

国際交流基金研修生との交流授業

国際交流基金関西国際センターの「日本語教育 キャンパステイビリティ」東アジア日本語教育 養成大学移動講座(インドネシア)の研修生32名が来学し、本学の日本人学生と交流をもちました。交流会は二部構成で、第一部のランチ交流会とキャンパスツアーには15名の学生が、第二部のインタビュー交流会には9名の学生が参加しました。

第二部冒頭では、2名の研修生がバリのダンスを披露してくれました。その後、研修生が準備してきた「日本の教育」「日本の大学生と家族の関係」などのテーマでインタビューが行われました。終了後のアンケートでは、全員が「参加してよかった」「今後も参加したい」と回答し、非常に満足度の高い交流会となりました。

日本語ボランティア

矢野 詩織さん(商学部)

私がこの活動の中で最も印象に残っているのは、インタビュー交流会です。研修生からの質問を受ける中で、流暢な日本語、日本について知りたいという強い意欲に圧倒されました。音楽についてのインタビューでは、インドネシアと日本についてあるアーティストが全く違っていて、初めて聞く日本人アーティストの名前もあり、おもしろかったです。また、インドネシアには伝統的な歌のジャンルがあって世代を問わず人気があるという話を聞き、一体感や文化を傳承しようとする情熱を感じました。

私は今年、社会人になりますが、彼らのように柔軟な姿勢で、様々なことに取り組んでいきたいと思いが、貴重な経験ができて、参加して本当によかったです。



＜インドネシアの研修生と日本庭園にて撮影(矢野さん:左)＞

ラーニング・アシスタント 活動報告

授業では留学生の新聞記事発表のサポートや日本の諸制度の是非についての話し合いを行いました。留学生と様々な問題について議論することで、彼らから見た「日本」について理解する良い機会になりました。最後の一カ月はディベーターの試合に向けて留学生と一緒に準備しました。原稿や質問想定集の精度の高さから、彼らのディベーターに対するモチベーションの高さを感じることができました。ディベーター本番では非常に白熱した議論が交わされていました。

LAという立場は、授業補佐として留学生の授業理解度を高めるだけでなく、様々なことを学べる素晴らしいものだったと思います。留学生と密度の濃い時間を過ごせ、貴重な経験となりました。

日本語教育センター開講選択科目

日本語総合演習B

日本語総合演習Bでは、留学生とLAと一緒にリーフレットを作成しました。普段、日本語のクラスで学んでいるレポートの書き方とは異なり、もっとやわらかい文章の書き方を学びます。どうすればリーフレットを手にとってもらいやすいか、どうすれば興味を持って読んでもらえるかを考えて、みんなで話し合っただけの記事のテーマや写真を決めました。

取材に行つて、原稿を書いて、推敲して、というプロセスは、とても大変ですが、リーフレットが完成したときの喜びはひとしおです。CIEC事務室前に置いてありますので、ぜひ読んでみてください！



＜できあがったリーフレットの様子＞



＜交換学生とLAをしてくれた日本人学生(本屋敷さん:後列一番右)＞

2015年度春学期日本語教育センター開講の選択科目の案内です。

<学部留学生対象科目>

- 日本語総合演習A
- ビジネス日本語A1
- ビジネス日本語B1
- ビジネス日本語A2 (KSC)
- ビジネス日本語B2 (KSC)

<学部生対象科目>

- 日本語教育基礎1
- 日本語教育基礎2
- 日本語教育基礎3
- 日本語教育基礎演習1
- 日本語教育基礎演習2

★上記科目は全てWebでの申し込みとなります。

【申込期間】4月1日(水) 8:50~4月3日(金) 16:50

<大学院留学生対象科目>

- 日本語(論文作成A)
- 日本語(口頭発表A)
- ビジネス日本語A1
- ビジネス日本語B1
- ビジネス日本語A2 (KSC)
- ビジネス日本語B2 (KSC)
- 日本語(総合)

★大学院留学生対象科目の申し込みは、日本語教育センターにて受け付けます。申込期間などの詳細については、履修案内を確認してください。



日本語教育センター開講科目履修に関するお知らせ

初等部訪問 ~交換学生授業~



＜交換学生 ジョ カビンさん(香港中文大学)＞

1月13日と15日に、交換留学生が初等部を訪問し、4年生と交流を持ちました。児童による英語での学校案内では、豪華な校舎にびっくりしていました。英語や日本語での簡単なインタビューなどを通じてお互いのことを知ることができました。日本の伝統的な遊びである、けん玉や折り紙などを楽しんだり、お昼ご飯を一緒に食べたりして交流を深めました。

一番盛り上がったのは、昼休みの「玉入れ」です。玉入れ初体験という留学生がほとんど。もしかしたら初等部の児童よりも盛り上がったいたかもしれませ